随意契約（相手方指定）調書

件名	出力機器利用サービス提供委託	No.5200687
工（納）期	令和7年3月31日	
契約締結日	令和6年10月31日	
契約金額	17,221,740円（消費税込み）	

契約相手方	富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 (法人番号：1011101015050)	
相手方指定理由	別紙に記載のとおり。	
備考		

業者選定理由書

<p>件名</p>	<p>出力機器利用サービス提供委託</p>
<p>指名業者 (案)</p>	<p>名称 富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 所在地 東京都江東区豊洲2丁目2番1号 代表者 公共支社 支社長 玉谷 圭子</p>
<p>特命理由</p>	<p>本件は、情報系パソコンの更改が完了するまでの期間、現行契約と同じ内容で、複合機144台及びレーザープリンタ62台の機器保守、消耗品提供、稼働監視等について委託するものである。 主管課からは、契約締結請求にあたり、部の機種・業者選定委員会の了承を得たうえで、上記業者を契約の相手方としたい旨の依頼があった。</p> <p>経理課として検討したところ、 現行契約で使用している複合機及びレーザープリンターを継続して使用することを含め、現行契約と同じ内容の契約を履行することは、現行契約の契約相手方である上記業者以外には不可能である。</p> <p>以上の理由から、上記業者を相手方に指定した随意契約を締結する。</p>
<p>その他 特記事項</p>	<p>○根拠規定：地方自治法施行令第167条の2第1項第2号 （性質又は目的が競争入札に適さないもの）</p>